

特色ある地域づくりの推進

(新規) 高齢者等の生きがいがづくり支援

1,000万円

地域力・市民力の向上を目指して、高齢者等の活動支援制度を創設。バリアフリー化された自治会館等を拠点とする社会奉仕活動（清掃、花壇植栽等）や教養講座開催（防災、交通安全等）、健康増進活動（囲碁、健康体操等）を助成する。最大20万円/年を助成。



(継続) 高齢者等地域活動拠点づくりの支援

2,000万円

自治会館等を活用し、地域が主体的に取り組む高齢者や子ども等の居場所づくりに対する支援。

(1地区200万円上限)

- ・学習・交流備品の購入助成
- ・活動拠点施設バリアフリー化等の補助



(新規) 地域活動シニアサポートモデルの推進

1,000万円

高齢者の知識、経験、技能等を生かした先進的な活動を支援。子育てや健康増進、環境保全、生活支援等、多様な分野での起業やNPO法人化も視野に、元気高齢者の活動助成を開始する。

拠点整備：上限200万円、運営：上限50万円/年



(継続) 自治会役員への女性参画を推進 H26補正対応

500万円

自治会役員への積極的な女性登用を推進。自治会への女性参画を促進し、地域の活性化を図る。

女性2名以上の継続登用：10万円

女性が3役（会長・副会長・会計）の場合加算10万円



(拡充) うるおい交流館・市民交流ホールの管理運営

1億9,078万円

エクラ・市民交流ホールの機能を充実させるため、管理運営をNPO法人に委託。エクラを拠点とした更なる市民活動の活性化と官民による協働のまちづくりを目指す。



(継続) 全高齢者への無料肺炎球菌予防接種

2,510万円

65歳以上のすべての高齢者を対象に、高齢者肺炎球菌の予防接種を実施。法定では対象年齢外となる高齢者にも接種機会を拡げ、疾病の予防を図る。



(継続) シルバー人材センターへの補助

1,155万円

シルバー人材センターが実施する活動の一部に要する経費を補助。働く現役世代の下支えや、人手不足分野での高齢者の活躍を支援する。



(拡充) 第38回小野まつりへの助成

4,700万円

10万人超の人々で賑わい、北播磨地域を代表する祭へと発展した小野まつりに対する補助。

平成27年8月22日(土)・23日(日)開催予定



(継続) 地域のコミュニティ活動推進

2,100 万円

市内6地区の各地域づくり協議会に対し、用途を限定しない助成を展開。地域が主体性をもち、自由に活用することにより、地域コミュニティの自主・自立を促す。(年間300万円、小野地区は600万円)



(継続) エイジ・ルネサンス・パーティの開催

460 万円

65歳を迎える方の人生第2の成人式を社会活動参加への契機として開催。男女共同参画社会の促進やボランティア活動への参加契機などとともに、「生涯青春」の実践による元気あるまちづくりに資する。



(継続) ハートフルウォーキング ～1日1万歩運動～

139 万円

手軽なスポーツ「ウォーキング」を推奨し、市民の健康づくりとコミュニティづくりを図る。
年間を通して「ハートフルウォーキングデー」を開催。



(拡充) 第2回小野ハーフマラソンの開催

600 万円

市制60周年を契機に開催された小野ハーフマラソンの第2回大会開催を補助。マラソンを通じて市民の健康増進を図る。



元気で美しい都市の創造

（新規）ひまわりの丘公園の整備調査

1,000 万円

オープンから13年目を迎えるひまわりの丘公園のリニューアル調査・研究に着手。



（新規）大池総合公園市民広場の整備

3,000 万円

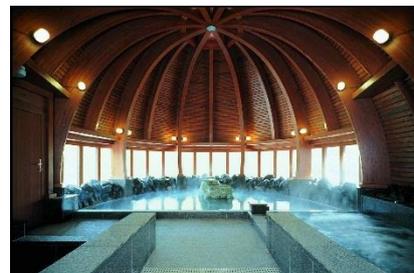
ホテル、市民交流ホールオープン等により大池総合公園周辺の用途が急激に変化。多目的に活用でき、快適で誰もが手軽に利用できる市民広場へリニューアル工事を実施。



（新規）白雲谷温泉ゆびかの整備

3,300 万円

オープンより11年が経過し、施設内において経年劣化した緊急性の高い設備等の修繕工事を実施。7日間程度の休業および部分閉鎖により対応。



（継続）新都市中央線の整備

4億1,000万円

小野工業団地及び流通業務団地等への主要アクセス道路として整備。物流の円滑化、市道の渋滞緩和を図る。

総事業費23億円

平成28年度末完成予定。



国費：2億900万円

(新規) 主要幹線道路の整備 (片山高田線)

2,000 万円

市街地の西側を南北に抜ける幹線道路の実施設計に着手。

児童や学生が多く通行する中、歩道新設により歩行者・車双方の安全で円滑な通行環境を確保する。



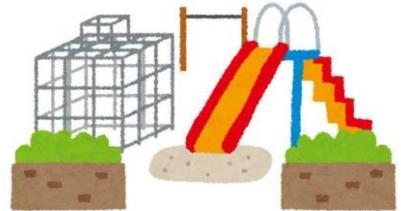
国費 : 1,100 万円

(新規) 公園施設長寿命化対策の推進

3,000 万円

都市公園の適正な管理のため、計画的な修繕・改築を実施し、公園の予防保全を図り長寿命化を推進する。

対象公園 : 大池総合公園、ひまわりの丘公園、榊公園、匠台公園、夢の森公園、小野八ヶ池自然公園



国費 : 1,500 万円

(継続) 農業・農村の多面的機能を推進

1 億 5,082 万円

農業・農村の多面的機能発揮のための地域活動に対して支援。農地の維持管理、施設の長寿命化を図る。



県費 : 1 億 1,398 万円

(新規) 農業 6 次産業化ネットワークの推進

2,640 万円

新商品開発や販路開拓、農林水産物の加工・販売施設の整備等に、6 次産業化ネットワークを構築して取り組む多様な事業者を支援。農家の所得や雇用の増大、地域活力の向上を図る。



県費 : 2,640 万円

子ども・子育て、教育環境の充実

(新規) 小中一貫教育の推進

600 万円

中1ギャップの解消や学力の向上を目的とし、5・4制による小中一貫教育を実施。河合小中学校を対象とし、小中連携による指導体制を確立する。



(継続) 保育所保育料の更なる軽減

13 億 589 万円

保育料の保護者負担を軽減するため、昨年同様、市独自負担により保育料の軽減率30%を維持。更なる子育て環境の向上と保護者支援の充実を図る。

市単独分：1 億 5,974 万円



国費：3 億 8,671 万円、県費：1 億 9,335 万円

(継続) 乳幼児・小児医療費の完全無料化（中学3年生まで）

2 億 4,149 万円

中学3年生までの医療費の完全無料化（所得制限なし）により、子育て家庭を支援する。

（市単独助成分1 億 3,476 万円）



県費：5,191 万円

(新規) 産後ケア経費の助成

110 万円

心身に不安を抱える母親に対し、専門家による産後ケアの利用を推進し、一部費用を助成。身体的・精神的な安定を図り、安心して子どもを産み育てられる環境を充実。



(拡充) 妊婦健康診査費を助成

4,164 万円

妊婦が健やかな妊娠期を過ごすとともに、安心して出産を迎えるため妊婦健康診査費の助成額を増額する。
助成費：75,000円を86,000円へ増額



(拡充) アフタースクールの推進

5,433 万円

小学校低学年の児童を対象に、放課後の生活の場を確保。運動や遊びを通して生活習慣等を学ぶ。H27はのびのびクラブ（小野小）を2クラスに拡充。



国費：948万円、県費：948万円

(新規) 早期からの教育相談・支援体制の構築事業

791 万円

特別な支援が必要となる可能性のある子ども及びその保護者に対して、早期からの教育相談や支援を実施。学習面や行動面の困難を改善・克服するため、すべての児童生徒に配慮した授業を行う。



県費：791万円

(継続) 脳科学研究事業の推進

160 万円

脳科学研究の第一人者「東北大学：川島隆太教授（小野市教育行政顧問）」の指導のもと、脳の成長期に応じた効果的な学習指導法等を検証。小学5年生を対象とした脳活性化の実証実験も開催する。



(新規) がんばりタイム推進モデル事業

120 万円

教員免許を有する大学生や教員OB等を小中学校に配置。放課後補充学習を行い、児童生徒の基礎学力の定着を図り、学力向上に向けた取組について調査研究を行う。



県費：120 万円

(新規) 保育所施設整備の補助

1 億 4,800 万円

法人保育所における老朽施設等の改修に対して助成し、保育環境の安全性や利便性の向上を図る。
H27年度は、市場保育園の建替え工事費、小野ひまわり保育園の内部改修費を補助。



県費：9,860 万円

(新規) 屋内運動場等吊物の落下防止対策

3,000 万円

学校体育館・武道場等の屋内運動場において、照明・バスケットゴール等の落下防止対策工事を実施。
対象施設：体育館 10 施設、武道場 4 施設



(新規) 給食センター整備事業

2,000 万円

築47年が経過し、老朽化が進んでいる給食センターの改築に着手。食物アレルギー除去食への対応や児童生徒への食育を通じた育成等を考慮した新たな給食センター整備を進める。



安全安心な暮らしの追求

(拡充) コミュニティバスの運行

7,803 万円

現行5台のバスに加えて、新たにノンステップバス1台、ワゴン車1台を増車。運行便数の拡充および道路が狭い地区への運行を実現し、交通弱者の移動手段を確保。



(継続) 北播磨総合医療センターの健全経営

5億6,368万円

H25年10月にオープンした北播磨総合医療センターの健全経営に係る負担金。公営企業に係る線出基準に基づいた建設関連費の一部や高度医療等の不採算分野の経費等に対し、三木市とともに負担する。負担金総額13億円。

小野：三木の負担割合（建設経費分5：5、運営経費分4：6）



(新規) 消防車両の新設・更新（はしご車・水槽車）

2億6,063万円

建築物の高層化に対応するため、新たに35m級はしご車を導入。小型ポンプ付水槽車も更新し、消防力を強化する。



(新規) 防犯カメラ設置の推進

800万円

警察からの要請や自治会等の要望にもとづき、市内重点箇所へ防犯カメラを設置（10基）。自治会等が1割程度の負担で、防犯カメラを設置できる助成制度も新設し、地域の犯罪抑止力の向上を図る。



(継続) 浄谷黒川丘陵地の整備

1億5,500万円

浄谷黒川丘陵地に市民の健康増進、体力向上、憩いの場として多目的広場5.4haを整備。防災倉庫も備え、災害時には、広域避難地として機能する。
総事業費9億900万円、H30年度完成予定
H27年度は造成工事を継続。



国費：9,816万円

(継続) LED防犯灯の新設

2,500万円

H26～H30年度の5か年計画として、防犯灯倍増5000作戦を展開。まちの暗がりを早期解消して、安全で明るいまちづくりを推進する。
H26年度：700灯（累計：3,000灯）
H27年度：1,000灯



(継続) 安全安心パトロールの展開

5,463万円

パトロール車8台、警察OBを中心とした専任のパトロール隊員15名によるパトロールを継続。平成16年から県内他市に先駆けて実施。パトロール車両1台を更新。



(継続) 防災資機材の整備

1,500万円

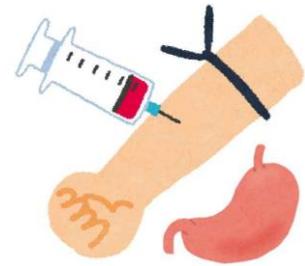
防災資機材等の分散備蓄計画に基づく「防災倉庫整備」の最終年度。9か所の拠点避難所に発電機や毛布、懐中電灯等を分散備蓄する。【H27年度】大部小、下東条小、コミセンいちば
【完了済】来住小、河合小、市場小、小野小、河合中、コミセン下東条



(新規) 胃がんリスク検診の実施

300 万円

胃がんリスク検診（ABC検診）を実施。胃疾患に罹患するリスクを血液検査で判定することで、胃がん等の予防・早期発見・早期治療を図る。



(拡充) 住宅耐震改修の促進

690 万円

耐震性が低く基準を満たしていない住宅の建替えおよび耐震改修、また耐震性がない住宅への防災ベッド等の設置に係る費用を補助。



国費：345 万円、県費：128 万円

(継続) 通学路の安全対策強化

3,000 万円

H24～H27年度で実施する「通学路安全対策」の最終年度。路肩のカラー化を中心に4年総額1億円で計画。

H27年度は、市場小校区において、側溝蓋掛けによる歩行スペースの確保等を計画。

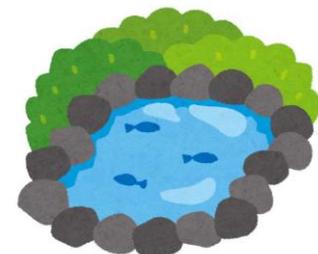


(新規) ため池安全・安心プロジェクトの推進

200 万円

282か所のため池定期点検結果に基づき、6か所の老朽ため池を選定。法面の浸食や陥没、漏水など、特に緊急度の高いため池から順次、改修する。

H27：皿池（住吉町）、東操屋谷池（小田上町）



県費：200 万円